

3月8日：優良株が1ヶ月ぶりの安値をつける中、VN指数は下落

複数の優良株が2月初旬以来の最安値をつけ、VN指数は0.04%安の1,168.27ポイントで取引を終えた。

同指数は取引初め1,180ポイント付近まで急騰したが、すぐに値を下げ、その後1,170ポイント付近で終日変動し、引けは0.42ポイント安だった。同指数は、これで3日連続1,168ポイントで引けた。

ホーチミン市場の売買代金は約4%増加し、15兆5,800億ドン（6億7,400万USドル）となった。274銘柄が買われ、183銘柄が売られた。

ホーチミン市場の大型株30銘柄に連動するVN30指数では、2%安で1ヶ月ぶりの最安値をつけたマッサングループ（MSN）など17銘柄が下落。

マッサングループに続き、ベトコムバンク（VCB）とビンホームズ（VHM）も共に1.2%安となり、1ヶ月ぶりの最安値をつけた。

カンディエン不動産（KDH）は1.1%安、3日続落となった。今後の取引で3.86%下落すると、2月1日につけた年初最安値を更新する。

ペトロベトナムパワー（POW）は5.2%高の逆行高、それに続いてペトロベトナムガスも2.7%高だった。

外国人投資家は12営業日連続で売り越し、合計金額が1兆2,500億ドンになった。中でもペトロベトナムパワー（POW）、ビナミルク（VNM）、ホアファットグループ（HPG）が最も売られた。

VN指数と対照的に、ハノイ市場の中小型株メインのHNX指数は1.39%高、非上場市場のUPCoM指数は1.09%高だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。